



ぜひご来校ください

めっきり涼しい季節になりました。秋も本番といったところでしょうか。読書の秋、学習の秋、運動の秋、文化の秋。それぞれ、秋の実に向けて、田代中学校集大成を皆さんに見ていただく時期でもあります。

先日10月21日に、県・地区指定研究協力校の公開が本校でありました。発表の内容はICT機器を活用した授業や生徒の活動、タブレットの活用方法などでした。公開は、三年生が数学の授業を行い、約60名ほどの先生方が見守る中、研究授業を行いました。大勢の先生方が注目する中、緊張して、小さくなるわけでもなく、自分の考えや感想を堂々と発表している姿を見ることができました。来校された先生方から三年生が積極的に授業に取り組んでいたことを賞賛されました。

今回新しい取り組みとして、研究をまとめたリーフレットにQRコードを載せました。これは各教科の取り組みがまとめられており、スマートホンやタブレットのカメラでQRコード読み込むと、田代中学校での取り組み状況が写真・映像等で閲覧できるようにしています。そのQRコードを校内の文化祭で展示し、閲覧できるようにしたいと考えております。生徒が日頃どのような学習の取組をしているか、ぜひご覧いただきたいと思っております。

9月におこなわれた体育大会やTJK発表会は南日本新聞で大きく取り上げられました。今週末の10月31日におこなわれる校内文化祭、11月4日から7日までの「かごしまの教育」県民週間による自由参観等生徒の活躍する姿を見ることができます。田代中学校へお越しください。お待ちしております。



授業研究の一コマ

校長 土岐 邦寿



公開授業

令和6・7年度 鹿児島県・大隅地区研究協力校
錦江町立田代中学校

「学校における教育の情報化」研究公開

令和7年10月21日

学校教育目標
確かな学力と豊かな心を持ち、健康や体力を備えた心身ともにたくましく生きる生徒の育成

研究主題
「個別最適な学び」の実現に向けて
～生徒の主体的な学習を促すICT機器の効果的な活用～

目指す生徒の姿

- ・自ら学び、学ぶ喜びを知る生徒
- ・自他の考えを尊重し合える生徒
- ・探究心を大切にし、自ら考え、判断し、表現できる生徒

<p>研究の柱（生徒） 情報の探索、データの処理や視覚化、レポートの作成や情報発信・共有といった活動でICT機器を効果的に活用することで、学びの質が高まり、深い学びにつながるのではない。</p> <p>視点① 日常的なICT機器の使用と課題解決に向けた創造的な活用の充実 視点② ICT機器を活用した学習成果の生徒間及び教師との共有と自己評価の蓄積</p>	<p>研究の柱（教師） 教師が一人一人の生徒と丁寧に向き合い、自分にふさわしい学習方法を探究できるよう支援することで、学習目標の達成や課題解決に向けて主体的に学習に取り組む生徒を育成できるのではない。</p> <p>視点③ ICT機器の活用による個に応じた学習指導の充実 視点④ 一人一人の生徒と向き合う時間確保に向けたICT機器の活用による業務改善の推進</p>
<p>生徒の実態 (○強み ▲課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒はタブレットを日常的に活用している。 ○ TJKでは、生徒が主体的に課題を設定し、実験や観察、発表を意欲的に行っている。 ▲ 教科学習においては自ら課題を発見し、解決しようとする姿勢が乏しい。 ▲ 学力差が大きく、質問できずに理解が不十分なまま学習を進める生徒がいる。 	<p>教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ TJKでの学びの姿を各教科学習においても表出させたい。 ○ ICT機器を活用し、生徒一人一人の興味・関心や能力に応じた学びの機会を提供したい。 ○ 教科学習において学習者主体の授業になるように指導法の工夫を重ねたい。 ○ 学びの質を高め、興味・関心を生かした学習に取り組ませることで、自信や意欲を育みたい。 ○ 生徒の「振り返り」や「共有ノート」等から困り感に気付く、適切にサポートしたい。

※ 田代自己探検法(総合的な学習の時間)